

次年度以降の評価の在り方について

項目	検討事項	関連資料等
1. 評価実施要領、業務実績報告書等について	<p>(1) 評価の指標を決めて、評価すべきではないか。</p> <p>(2) 法人が提出する資料として、様式1、様式2の2種類の資料の作成を求めているが、一つにまとめて良いのではないか。</p> <p>(3) 法人自己評価の判断理由、根拠データが不足している。</p> <p>(4) アウトカム(成果)や効果の記載がされていない。 何をどこまで達成するのか、その結果として、何が変わったのか分析の記述があると良い。</p>	<p>資料4-2: 各事業年度における業務実績評価に係る実施要領(案)</p> <p>資料4-3: 中期目標期間における業務実績評価に係る実施要領(案)</p> <p>資料4-4: 公立大学法人和歌山県立医科大学業務実績報告書作成要領(案)</p> <p>資料4-5: 平成24事業年度における業務実績報告書(案)</p>
2. 評価結果決定手順等について	<p>(1) 客観的な評価のため委員のみで審議を行う必要があるのではないか。</p> <p>(2) 法人意見の申出の方法を見直すべきではないか。</p>	<p>資料4-6: 評価決定手順について</p> <p>資料4-7: 平成24事業年度の業務実績に関する評価結果(案)に対する法人意見(案)</p>
3. 中期目標・計画等について	<p>(1) 中期計画→年度計画→実施状況等の間のブレイクダウンが不十分である。(計画と実施状況間の整合性がとれていない。)</p> <p>(2) 中期計画の項目が多すぎる一方で再掲も多い。 中期計画の項目配列及び中期計画と年度計画の関係等がより体系的になるよう改善すべきである。</p>	<p>【事務局より】</p> <p>(1) 中期計画、年度計画、実施状況の整合性がとれていない項目があったことは、第1期の反省点である。 今後は、その反省を踏まえた年度計画策定や計画と整合性のとれた実績把握に努めるよう法人に助言していく。</p> <p>(2) 第2期中期計画では、その項目数を整理し、より体系的になるよう改善している。(第1期:220項目→第2期:74項目)</p>
4. その他	委員会の事前打合せを行ってはどうか。	